

2021年(令和3年)
11月(第6号)
発行:東志賀学区
連絡協議会

月 日 曜日 日
東志賀ヒーローズ



開校当時の東志賀小学校



完成したばかりの校舎

**祝
還暦**

学区長・校長 記念対談

1961年(昭和36)年に、金城小分校から独立した東志賀小学校は今年で開校60周年。「還暦」を迎えた学び舎で机を並べる児童は学区の宝、そして未来を担う次世代のヒーローだ。本紙は学区連絡協議会会長の山崎悦男さん(72)と校長の廣瀬義隆さん(52)の特別対談を企画した。学区と小学校が手を携え、いかに地域を盛り上げていくか。校長室での対談を詳報する。

廣瀬 本来は住民の方を招き、思いをお話していただきたいのですが、コロナで叶いませんでした。学校だけでは子どもは育ちません。「君たちは、この地域の中で育っているんだよ」と伝えていきたい。校舎も指導法は変わっても、どの時代もそれは同じです。
山崎 地域活動は小学校がベース。地域としても学校行事に参加させてもらっていますし、私たちも子どもの育成に一生懸命、協力していきたいです。
廣瀬 東志賀は人が温かいですよ。困ったときに、近くに相談できる場所があり、頼れる人がいます。登下校の見守りや公園の清掃なども本当に感謝しています。児童が素直で思いやりがあるのも、地域性が関係している気がしますね。私も住みたいです、本当に。
山崎 地域の人が動くのは「東志賀の子どものために」という思いが原動力です。

「若い力、地域活動に求める」

力です。私の息子も東志賀小の卒業生ですが、「ここで生まれ育って良かった」

山崎悦男会長(72)

ます。コロナ禍でも、児童会を中心に、創意工夫して取り組んでくれています。
山崎 あいさつは社会の中で自立して生きていくために欠かせないものです。登校時の見守りで児童に「お早うございます」と声を掛け、返事があると、大変、気持ちが良いです。

廣瀬 住民の方が学校にうれしい報告をくれることがあります。先日は「突然、雨が降って、児童が傘を差し出してくれた」と。「登校時の礼儀正しさが素晴らしい」という声ももらいました。子どもたちに伝えていきます。
山崎 地域活動は担い手が高齢化していますが、ICT(情報通信技術)導入など新たな挑戦も始めました。地域紙「ヒーローズ」も活用して、できるだけ多くの児童、保護者に関心を持ってもらえるようにしていきたいです。



廣瀬義隆校長(52)

「た」と思ってもらえる地域が理想です。
廣瀬 教育はあいさつを重視して

廣瀬 子どもたちが「通いたい」と思える学校が理想です。さらに、この地域の校長として、住民の方が「関わりたいな」と思ってくれる東志賀小学校を目指していきます。

「児童は地域の中で育っている」

ひろせ・よしただ 瀬戸市出身。「人の人生に関わる仕事」と魅力を感じて教員に。前任は緑区大清水小学校長。趣味はテニスなどのスポーツ。最近若者に人気のアニメ「東京リベンジャーズ」がお気に入り。

今月の題字 第6号のタイトルのイラストは、東志賀小6年の寺嶋彩音さんの作品です。小学校の特集にぴったりなデザインをありがとうございます。引き続き、皆さんのご応募お待ちしております。

スポーツの秋 グラウンドゴルフ大会

二村さん栄冠 はつらつ熟練の技

学区ふれあいグラウンドゴルフ大会が、10月17日、東志賀公園で開かれ、出場者がはつらつとしたプレーを披露した。大会は高齢者の交流と健康の維持が目的。コロナ禍で大会



中止の時期もあつたが、感染の収束を受け、念願の開催にこぎつけた。参加者は「ナイスショット!」

入賞者の皆さん

【総合優勝】

二村敏江

【男性の部】

優勝 岡本茂彦

2位 藤森哲郎

3位 森鋭一

4位 杉原公

5位 森三夫

【女性の部】

優勝 二村敏江

2位 古田恵子

3位 上岡清子

4位 丸山富子

5位 永谷靖江
(敬称略)

など、お互いに声を掛け合い、プレーを楽しんだ。運営は学区の体育委員が協力した。

総合優勝を飾った二村敏江さん(85)

は「初優勝にびっくりです。週に4回、都合の付く限り、練習に参加して、和気あいあいとプレーを楽しんでいます。体力の続く限り続けたい」。男性の部で最高齢優勝の記録を打ち立てた岡本茂彦さん(92)は「この年齢で健康にプレーできることが、何よりも幸せです」としみじみと語った。

懐かしの東志賀小



白熱! 玉入れ



修学旅行で清水寺へ



おいしく飯ごう炊さん

懐かしい3枚の写真は1966(昭和41)年の卒業アルバムからお借りしました。表面の完成間もない校舎の写真は谷口元さん(72)の提供です。現在は黒川東町内会長を務め、学区の防災活動や情報通信技術(ICT)活用プロジェクトなど、地域で活躍されています。

全員野球、見事3位

北区OBソフトボール



2021年度秋季北区学区対抗ソフトボール大会が10月、北総合グラウンドで開催され、OBの部で東志賀学区チームが3位入賞を果たした。

先発し、伸びのある直球と多彩な変化球で相手打線を抑え込んだ。エースの熱投に比べようと、打線も奮起し、序盤から長短打を重ねて大勝利した。準決勝は惜しくも敗れたが、持ち味の「全員野球」を披露した。監督の原英男さん(68)は「コロナ禍で試合や練習がで

きない時期が続いたが、力を発揮できた」と喜ぶ。近年、OBチームと「親子関係」にある児童のジュニアスポーツの保護者らがチームに加入している。「一時期、人数が足りずに解散の危機もあった。今は若手とベテランのバランスが良い。今後、優勝も狙える」と意気込む。

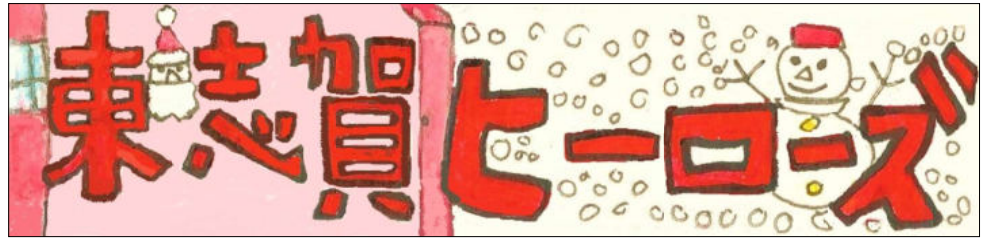
1番遊撃手でチームを引っ張る荒深正臣さん(48)は、準々決勝で2打席連続ホームランを記録。「何とか次の打者につなげようと、必死に打った結果がホームランになった。世代を越えた関わり合いを持つ点が、OBソフトの魅力」と語った。

地元の英雄 情報を募集

学区のヒーローの情報をぜひ、お寄せください。学区編集部 鈴木龍司まで。

☎080・3502・3534

2021年(令和3年)
12月(第7号)
発行: 東志賀学区
連絡協議会



おともだちと クリスマス!

もうすぐ、クリスマス。学区の子育てサロン「ともだちつくり」が12月1日、東志賀コミュニティセンターでクリスマス会を開いた。サンタクロースがプレゼントを背負って登場すると、子どもは大歓声。子育てに奮闘中のママたちも楽しい時間を過ごした。

民生児童委員など企画

サロンは東志賀民生委員児童委員協議会が中心となり、北保育園エリア支援保育所などの協力で月1回、企画している。クリスマス会のこの日は0〜3歳児と保



ママ友も交流 サンタに大歓声

【今後の予定】

- ・1月5日
上飯田児童館による手作りおもちゃ
- ・2月2日
乳幼児の応急手当・AED
@コミュニティセンター
※予約制。問い合わせはメール。アドレスは、higashishi_ga_baby@yahoo.co.jp

護者ら30人以上が参加。親子で手遊びや工作を楽しんだ後、待ちに待ったサンタクロースが会場に到着。プレゼントを受け取り、記念撮影をした。主任民生児童委員の天野美帆さんは自身の子育ての経験をもとに「ママ友の存在が、情報交換をできるように橋渡し役ができれば」と話す。活動のやりがいについては「子どもたちがもう、かわいくて、かわいくて」と表情を崩した。



志賀三V 体育委員も貢献

東志賀学区の第5回親善ソフトボール大会が11月21日、北陵中学校で開催され、志賀三チームが優勝した。団地のアーバン、大野町、志賀三、消防団の計4チームが出場。トーナメント戦はいずれも接戦の好ゲームで、大野町との決勝に競り勝つ

親善ソフト大会



た志賀三が優勝旗を手にした。監督の波多野勝さん(66)は「若い子の力が特に光った。ここまで良い打撃ができると思わなかった」と喜んだ。縁の下のヒーローとして運営を支えたのが体育委員。グラウンドゴルフ大会にウオーキング大会、そして親善ソフトと大活躍の秋だった。



消防団 緊急出動！

「住民のため」団員の心意気

10月末の夕方、学区内の団地にサイレンを鳴らした消防車が集まった。時を同じくして、現場に駆けつけたヒーローたちがいる。東志賀学区消防団のメンバーだ。幸い火災には至らなかったが、改めて、わが町に消防団員がいることを心強く思う機会になった。

団地への緊急出動は鍋の空だきが原因だった。消防団長の犬飼邦雄さん(71)は「鍋物やストーブなど、冬は火を使う機会が増える。より注意してほしい」と呼び掛ける。

12月の学区防災訓練でキビキビとし

たポンプ訓練を披露した消防団。日ごろは夜間パトロールなどにも力を入れてい

活動後は和気あいあい



る。燃えやすい段ボールが置かれていないか、不審者はいないか、注意深く見回り、学区の安全を守ってくれている。課題はメンバー不足。定員25人に対して所属は20、70代の14人。「学区のために誰かがやらないといけない。ならば自分が」。団

求む！消防団員

学区内に居住、勤務、通学している人で、入団時の年齢が18歳以上65歳以下の人が対象。女性も大学生も大歓迎。非常勤の特別職公務員の身分で、手当の費用弁償あり。問い合わせは、犬飼団長まで。☎090(3254)8920

地元の英雄 情報を募集

あなたの身近なヒーローの情報をぜひ、お寄せ下さい。学区編集部の鈴木龍司まで。☎080(3502)3534

員はそんな思いで活動している。

「危険が伴うのでは？」と心配する人もいるだろう。ただ、火災時の任務は交通整理などの後方支援が中心だ。災害時には住民の助け合いのリーダー役となる。広報啓発など女性の活躍の場も多い。

特に現役世代は仕事や子育てに忙しい。だから、活動は「強制はなし。仕事など生活優先」という。欠席を申し出やすい環境なので安心だ。「和気あいあいとしたアットホームな雰囲気。多世代交流できる点も魅力ですよ」。団員たちは、新たなヒーローの仲間入りを心待ちにしている。

ジュニア北区制覇

ソフトお楽しみ会も満喫



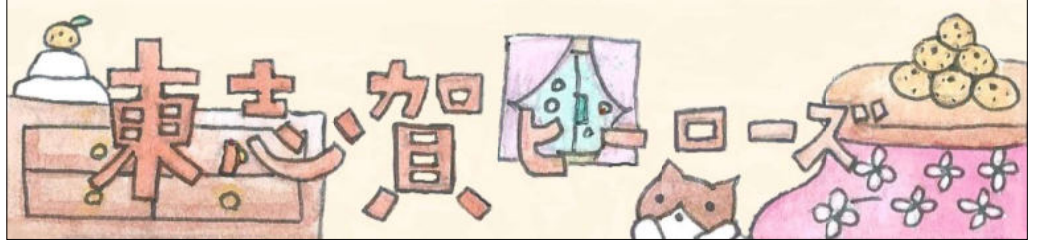
東志賀学区ジュニアクラブのソフトボールチームが11月、北区トーナメント戦を制して、チャンピオンになった。

持ち前のチームワークで1、2回戦を大勝。大接戦となった決勝戦も主将でエースの矢野千晶さんを中心に相手を無失点

今月の題字
第7号のタイトルイラストは、東志賀小4年の木下暖士君の作品です。心温まるクリスマスデザインの画をありがとうございました。引き続き、皆様のご応募をお待ちしています。

に抑え、勝利した。クラブはお楽しみ会も企画。児童やスタッフ、保護者でクイズやゲームを楽しんだ。新団員も大募集中。問い合わせはHP「東志賀ジュニアクラブ new」から。

2022年(令和4年)
1月(第8号)
発行:東志賀学区
連絡協議会



集まれ!ラジオ体操

6時半@東志賀公園

新しい朝が来た、希望の朝だ。ラジオ体操で新たな出会いと交流を見つけてみませんか。東志賀学区のキーワードは2022年も「つながり」。地域の縁と輪をさらに広げるため、新年号のトップはラジオ体操の話題を取り上げる。

新しい朝 交流の輪

朝6時半の東志賀公園。集まってきた



ラジオ当番 十年余

酒井知代野さん

ラジオ体操の交流を陰で支えるヒーローが、酒井知代野さん(80)だ。10年以上、毎朝、欠かさずに公園でラジオを流している。「早寝早起きは三文の徳。健康にも良いし、名前を知ら

なくても気軽な付き合いが生まれる」と酒井さん。雨、雪の日は図書館の駐輪場や団地のテラスにラジオを置く。前任者から引き継いだ当番のやりがいを「いつも、ありがとう」と声を掛けてもらってうれしくて」と語る。体操の後は友人とウォーキングに向かう。座右の銘は「継続は力なり」。その言葉通りの地道な活動が、学区の触れ合いを支え続けている。

住民が挨拶を交わし、音楽に合わせて一緒に体を動かす。終わると、あちこちで世間話の輪ができる。子供会の児童が加わる夏休みは一層、にぎやかになり、参加者が100人を上回る日もある。

「朝活」(アサカツ)が一般化した近年、交流や見守りの場としてラジオ体操の注目が高まる。学区連絡協議会トップの山崎悦男さん(72)は「子どもに親世代、年配者。多世代交流の輪をラジオ体操を通じて広げたい」と期待する。

玄関先に「無事です」

災害時に掲げて!



「この家は無事です」。東志賀学区は、大規模災害時に住民の安否確認をスムーズに進めるため、それぞれ町内会を通じて「安否確認札」を各世帯に配りました。学区防災委員会は「自宅から避難する際、ドアノブに札を掛けてほしい」と呼び掛けています。災害時、「72時

間の壁」という言葉をよく耳にします。被災から七十二時間(三日)を境に、一気に生存率が下がることを意味します。つまり、自主防災会にとつては、避難状況の早期把握が大切な任務になります。しかし、近所付き合いが薄れたり、住民が高齢化したりして確認が難しい地域もあります。そうしたケースでは、安否確認札が切り札になります。自宅で被災して逃げる際、少しでも余裕があれば、この札を玄関先に掲げてください。

今月の題字

第8号のタイトルのイラストは東志賀4年の日置カサンドラさんの作品です。お正月にちなんだ、かわいいたデザイン画がありとうございました。世代を問わず、引き続き、皆さんのご応募をお待ちしています。

「生命の声明」一。東志賀小学校の児童が、いじめのない学校にしようと、意見を出し合っ
て、キャッチフレーズを決めた。「1人1人の命を尊重して、1人1人の声を大切にしよう」。そんな誓いを込めた。中心となって合
言葉を決めた児童会の役員に、校長室で思いを聞いた。

いじめ防止 児童が合言葉 「生命の声明」

1人1人の大切な声 咲かせよう笑顔の花



市教育委員会が進めるいじめ撲滅の「INGキャンペーン」の一環。INGは「I(いじめの)」「N(ない)」「G(学校づくり)」の略称で、東志賀小学校の児童は道徳などの時間を活用して、いじめの防止について考えてきた。

「生命の声明」のフレーズは各学級から出た意見をもとに、児童会が決定。全校集会でお披露目し、言葉に込めた思いを紹介した。

児童会長の轟葵君(6年)は「自分からいじめはしないし、もし、気付いたらすぐに注意したい」。

副会長の浅井柚樹君(6年)は「もし、いじめにあつたら、一人で悩んだり、ふさぎ込んだりせず、先生や家族に訴えてほしい」と呼び掛ける。代表委員の杉本雄哉君(6年)も「一人ぼっちの子がいたら、『大丈夫?』と声を掛けてあげたい」と誓う。

市は各校の合言葉のイラストを集めてフラッグを作る。そのデザインを手掛けた代表委員の中室綴さん(6年)は「誰にでも温かく接することを心掛けたい」と語る。

児童会は相手に言ってもらってうれしい言葉を募る「あつまれ!ふわふわ言葉の森 week」も企画。「大丈夫?」「ナイス」「助かったよ」「すごいね」「ありがとう」など

の言葉が集まり、言葉を集まり、言葉を飾ったツリーを校内に展示した。

廣瀬義隆校長は「子どもたちが自主性をもち、創意工夫しながら進めてくれている。とても大切な姿勢です」と活動を喜んでいる。



安心の夜守る 防犯パト大集結

コロナ禍で中止されていた学区と警察による夜間合同防犯パトロールが11月末に再開した。防犯委員に加え学区役員や町内会長、住民らが参加。不審者に目を凝らしながら、空き巣や振り込め詐欺など身近な犯罪への注意を呼びかている。久しぶりの合同パトとなった11月末

区社会福祉協議会HPで閲覧可。「地域福祉に関すること」から「各学区の取り組み」に進み、「東志賀学区」をクリック。印刷もできます。

北区社協HPに掲載

ヒーローズ電子版



は80人が集まり、12月のクリスマスまでの夜も有志が大集結した。21人の防犯委員は連日、年末の巡回を続けるなど大活躍中だ。防犯委員長の北川勝弘さん(76)は「暮れの忙しい時期に大勢が集まった。『我が町がかわいい』という愛を感じる」とやる気をみなぎらせた。

身近な英雄 情報を募集

あなたの身近なヒーローの情報をぜひ、お寄せ下さい。学区編集部の鈴木龍司まで。☎080(3502)3534

2022年(令和4年)
2月(第9号)
発行:東志賀学区
連絡協議会

東志賀ヒーローズ

次代担うヒーローたち

新成人の門出



希望のキャンドル灯す

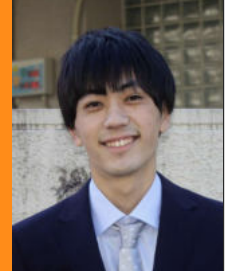
明るい未来へ、新成人が希望の灯をともした。東志賀学区成人式が1月、東志賀小学校で開かれ、80人が決意を新たにした。式は学区の役員らが準備し、次代のヒーローの門出を祝った。

新成人の伊藤綾里さんのピアノ演奏で国歌を斉唱。学区の伝統行事「希望の灯」では宮本和維さんと金森美和さんが代表でロウソクに点火した。斎藤伸秀さんと野田溪さんが来賓の

恩師に謝辞を述べ、久納由衣さんと榎谷りえさん、住田恵梨さんが花束を贈った。最後に永井遙大さんと紫村香弥さんが交通安全を宣言し、集合写真を撮影した。

行動力と責任感のある大人になる一。成人式では新成人を代表して、村田允さんと倉崎彩音さんが誓いの言葉を述べた。2人に決意や今後の夢、地元学区への思いを聞いた。

村田 允さん



大人の誓い



倉崎彩音さん

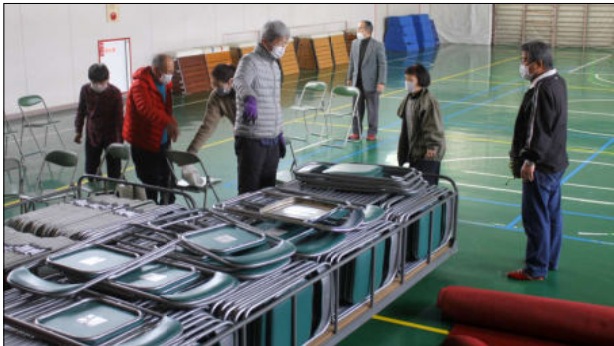
「信頼される先生目指す」

「責任感のある大人になりたい」。教師を目指して大学に通う村田さんの理想は「生徒にも同僚の教師からも慕われ、信頼される先生」という。大学で観光を学ぶ倉崎さんは「周りに気を配れ、行動力を持って色々なことに挑戦できるようにになりたい」と前を向く。

高校の卒業式が縮小されるなど、コロナの影響を受けてきた年代。二人は「みんなで祝える式があることがうれしい」と口をそろえ、「地元の方もコロナで大変なのに、私たちのために式典を準備してくれ、感謝しかない」と語った。

学区の魅力を一住民の距離が近く、人のつながりが残っている」と語る村田さん。将来は教師として地元で貢献していくつもりだ。地域活動に関心を持つ倉崎さんは「若者が温かいと思える地域にするため、地元に関わっていきたい」と誓った。

「行動力持って挑戦する」



新成人の一生の思い出にしておくと、式典の準備や運営には学区の役員や町内会長ら約40人が協力した。

東志賀小PTA会長で実行委員長を務めた柳川正弘さん(37)は「式は大人への最初の一步。自分自身を振り返っても人生の区切りになった。良い門出にしてもらいたい」と願った。式の準備に20年以上関わってきた少年補導委員長の山脇正己さん(66)は「毎

学区で祝う手づくりの式

年、大事な地域の子どもたちに、しっかりとした式を味わってほしいという思いで協力しています」と語り、「希望の灯」のキャンドル設営など運営を引っ張った。

学区長の山崎悦男さん(72)は式のあいさつで、IT化や東志賀ヒーローズなど新たな取り組みを紹介。「ぜひ、若い人たちとも一緒に手をつないで進めていきたい」と地域活動への参加を呼び掛けた。

今月の題字

第9号のタイトルのイラストは東志賀小4年の雪廣こうたろう君の作品です。温かみのあるデザインをありがとうございます。世代を問わず、皆さんの作品のご応募をお待ちしています。次は第10号。編集部では近い将来、題字の作品展を開催できたら素敵だなと考えています。

災害は忘れたころにやってくる。東日本大震災（3・11）から来月で11年を迎える。もし、この瞬間、大地震が地域を襲ったら…。学区の防災訓練や防災委員長のインタビューを通じて、東志賀学区の備えの現在地とこれからを考えたい。

今、大地震が起きたら…

住民の命どう守る？

防災委員長に聞く



磯部 正明さん

学区の防災活動の要が防災委員会。防災訓練や災害時のマニュアル作りなど、有事に備えて日夜、活躍するヒーローたち。委員長として先頭に立っている磯部正明さんに、現状の課題や活動に対する思い、住民へのメッセージを聞いた。



安否確認や消火練習

学区防災訓練に120人

東志賀学区の自主防災訓練が昨年末、小学校のグラウンドで開かれ、住民120人が参加した。消火器の扱いに慣れるため、5メートル先のを狙う訓練や、南海トラフ地震を想定した起振車の体験会などを企画。命を守るために日ごろから、家具の転倒

防止対策を施しておくことの重要性も学んだ。また、コロナ禍では、避難所の感染対策も重要で、避難者間のソーシャルディスタンスの取り方なども確認した。町内会単位で活動する各自主防災会は、学区の訓練に合わせ安否確認札の掲示と、各戸を回って確

認する訓練に取り組む、災害に備えた。



消防団は放水訓練を実演した。コロナで活動が制約される中、地道な訓練を続ける団員たちは統率の取れた動きを披露した。災害発生時、住民の強い味方となる消防団は団員不足が深刻。新

消防団 放水勇ましく

しい仲間を大募集中だ。18歳以上65歳以下。女性、大学生も歓迎。手当の費用弁償あり。問い合わせは、犬飼邦雄団長まで。
☎090(3254)8920

学区の課題は

二、三年、地元で大災害はありませんが、まずは災害を「自分事」としてとらえてほしいです。自主防災会は役員の高齢化や無関心な人の増加で、うまく機能していない組織もあります。
◇そんな中、どう対策を進めるか
防災訓練で安否確認札を試しました。

自分の町、自分たちで守る

犠牲者を減らすための第一歩が安否確認。誰が逃げ遅れたかが分かれば、後の対応を考えることができます。
◇委員会の取り組みを教えてください
2014年度に発足し、その翌年から委員長に就きました。現在は男女6人の委員がいます。これまで、避難所

◇やりがいは

住民から「参考になった」などと反応があるとうれしいですね。関心を持ってくれていると実感できます。この地域は、都会なのに人の結び付きが強い。仕事との両立やコロナで大変ですが、皆さんと前に進めていきたいです。

編集後記

編集部・鈴木の団地も安否確認札の訓練を実施。「札を見つけた瞬間、関心を持ってもらっているのがうれしいね」協力してくれた女性の言葉が印象的でした。防災委員長の思いも重なります。

身近な英雄 情報提供を

スポーツや特技、ボランティア、身近にある温かなエピソード…。ジャンルは問いません。学区編集部の鈴木龍司まで。
☎080(3502)3534

電子版お試しを

ヒーローズは北区社会福祉協議会のHPで閲覧できます。高齢者らの困り事に寄り添うボランティア「地域支えあい事業」の活動報告も読めます。QRコードから直接アクセスすると便利です。





学区のIT化・仲間募集

ネット交流、求む人材!



「オンライン会議」

皆さんも、東志賀学区のIT化チームの仲間になりませんか? コロナ禍でも地域活動や住民の結び付きを維持するため、知恵を出し合っています。IT化と言っても難しく考える必要はなし。楽しく学び合いながら、和気あいあいと進めています。子どもや学生、子育て世代、お年寄りまで、年齢を問わず、大歓迎です。

パパママ、学生さん歓迎

「オンライン会議」「学区のホームページ」(H P)作成。「電子回覧板」。現在、特に

「HP作成」

「電子回覧板」



スマホ練習、孫とのzoom

初心者も楽しく

「IT化の目的は「効率化」に加え、仲間とつながり、楽しむこと」にあります。スマートフォンに不慣れだった年配の方も、講座や仲間のサポートによってメモキと上達。LINE(ライン)やオンライン会議システム「zoom」も使いこなし、交流

の幅が広がっていると大好評です。「息子や娘には聞きづらい」という人も、このチームなら、楽しくスマホやzoomデビューを果たせます!

学区のHP試作中

無料のソフトを活用して、すでに学区のHPの試作に取り掛かっています。イベントや生活情報の告知板の機能に加え、地元で活躍するグループの情報発信と交流の場として活用することが狙いです。HPの運営に欠かせないのが、ページを更新していく仲間の存在。操作は簡単、IDを共有すれば自宅のPCで作業が可能です。ぜひ、ボランティアメンバーにご参加下さい。



ぜひ、「ご連絡を！」

IT化チームに関心をお持ちの方は、鈴木龍司(UR第一町内会長)まで気軽にご連絡下さい。電話080(3502)3534

今月の題字
記念すべき第10号のタイトルのイラストは、東志賀小6年の藤原勇典君の作品です。まさにヒーロー。この新聞にぴったりのデザインをありがとうとごさいました。

1人暮らしのお年寄りや高齢者世帯、赤ちゃんのいる家庭を温かく見守っているのが、民生・児童委員の皆さんたち。新型コロナウイルスで面会や訪問の機会を奪われる中、つながりを絶やさないように日々、奮闘を続けている委員たちの姿を追った。

頼みの綱 民生・児童委員

コロナ禍 孤立防ぐ

見守り活動 7期21年目

池山千津香さん

「私の次をやってももらえないかな?」。前任者に頼まれ、委員を引き受けてから7期21年目になる。今は民生・児童委員協議会の委員長も務める池山千津香さん(写真右側)は、持ち前の明るい人柄で周りを引っ張っている。ただ、新型コロナウイルスは過去に経験のない非常事態。心配事は尽きないという。見守り分野の現状と課題、そして活動への思いを聞いた。



「お便り」でつながり

「つながる先は必ずある」。委員は月1回、手作りのお便りを高齢者に配っている。健康維持の運動や緊急時の連絡先など、お年寄りにとって耳寄りな情報が満載。集合住宅でも玄関ポストまで届けているという。「玄関の様子で住

民の状況を把握できるケースがある。「誰かが見てくれている」という安心感を届けたい」と委員。子育て世代に対しても、感染状況を見極めながら、「サロン」ともだちをつくろう」などを通じて交流を続けている。



「地域との接点がい」

◇コロナの影響は? 2年近く、ともに訪問活動ができていません。本来は高齢者のお宅を回って健康状態や困り事をお聞きするのですが、感染防止のため、市から「控えるように」と通知が来ている。手料理を振る舞う給食会も開けない状態です。

◇活動のやりがい? 地域との関わりを持ってた点ですね。友達も増えました。委員に

◇心配事は?

出掛けない、人と話さない。家でテレビを観ているだけでは、体力が衰えるし、認知機能の低下も心配です。

◇今の状況でどう見守りをする?

心配な方には電話をするようにしています。話す機会が少ないた

らなければ、自分の団地に誰が住んでいるかも知らなかった。以前は、みんなでお金を貯めて旅行に行き、忘年会や新年会も楽しみでしたが、今は全部中止。委員の横のつながりが薄れてしまうのが心配です。何とか早く、コロナ前の状態に戻したいですね。

自作グッズ& "黙" 企画 工夫で交流

右の写真は、コミュニティセンターで開かれたカフェの様子です。新型コロナウイルス対策に有効な飛沫防止シートが目につきます。



「ヒーローズ」の電子版はこのQRコードから。

学区長の山崎悦男さんが木枠を組み、ビニールを張って手作りしたそうです。この日のサロンは会話を控えるため、昭和の懐かしい映像の上映会を企画。コロナ禍でも住民の交流の機会を守ろうと、各団体が工夫と努力を続けています。

地元の英雄 情報提供を

皆さまのご協力とご協力で節目の10号を迎えることができました。町で活躍する人たちの情報を編集部が編み、お知らせさせていただきます。

☎080-3534